

満蒙開拓概略史 (「満洲政策」「戦争の推移」欄は、白取論考、『戦史叢書』等から一條作成)

	開拓団	少年移民(義勇軍)	満洲政策、移民政策等	国内外の状況
1931			9.18 柳条湖事件、満洲事変始まる	
1932 (s07)	第一次自衛移民 (弥栄)		1.3 関東軍、移民政策推進決定 3.拓務省「満蒙移植民計画」閣議提出するも否決 6.奉天に日本国民高等学校北大営分校開校 8.臨時議会で試験移民関連予算、経済更生運動決定 9.15「日満議定書」調印 9.第一次移民募集、応募者訓練 10.第一次隊渡満	3.1「満洲国」建国宣言
1933 (s08)	第二次自衛移民 (千振)		5.塘沽停戦協定(満洲事変終結)	3.国際連盟脱退通告
1934 (s09)	第三次特別農業移民 (瑞穂)	2.鏡泊学園開設 9.第一次饒河少年隊		3.「満洲国」、帝政実施
1935 (s10)	第四次農業移民 (城子河、哈達河)	7.第二次饒河少年隊 11.鏡泊学園卒業式	8.「農山漁村経済更生特別助成施設要綱」決定 11.満洲移住協会発足(37.4財団法人に改組)	
1936 (s11)	第五次集団移民 (永安屯、朝陽屯、黒台、信濃黒台)		特別助成町村指定開始、更生上必要なら移住計画立案せよ 1.満洲拓殖株式会社設立(37.8満洲拓殖公社に発展的解消) 8.広田内閣「20ヶ年百万戸送出計画」	11.日独防共協定
1937 (s12)	第六次集団移民 (大量移民第一年)	7.第三次饒河少年隊 7.城子河、哈達河開拓団に少年隊補充 8.~伊拉哈少年隊送出	第一期5ヶ年計画第1年 5.拓務省、移民送出計画と町村の経済更生運動の関連づけ 7.15 関東軍主催会議「青年農民訓練所(仮称)創設要綱」決定 11.3「満蒙開拓青少年義勇軍編成二関スル件建白書」 11.30「満洲ニ対スル青年移民送出二関スル件」閣議決定	7.7 盧溝橋事件 日中戦争始まる 11.日独伊三国防共協定
1938 (s13)	第七次集団移民	第一次青少年義勇軍	1.拓務省「満蒙開拓青少年義勇軍募集要綱」、先遣隊募集 6.農林省「分村計画補助金交付二関スル件」決定	7~8 張鼓峰事件
1939 (s14)	第八次集団移民	第二次青少年義勇軍	5.11「国境建設策基本要綱」6.北辺振興計画(~41末) 7.3 拓務省「来年度第一次送出義勇軍二付郡教育会ニ於テ一個小隊(六〇名)編成二関スル件」、郷土中隊への契機 12.12「満洲開拓政策基本要綱」閣議決定	5~8 ノモンハン事件 8.独ソ不可侵条約、平沼内閣総辞職
1940	第九次集団移民	第三次青少年義勇軍	4.満洲国政府、訓練本部を新京に設置	9.日独伊三国同盟
1941 (s16)	第十次集団移民	第四次青少年義勇軍 第一次義勇隊開拓団	7.7 関東軍特種演習動員令 7.14「臨時満洲開拓政策遂行要領」 8.9年内の対ソ開戦の可能性を断念 12.31「満洲開拓第二期五ヶ年計画要綱」閣議決定	4.日ソ中立条約 6.22 独ソ戦開始 12.8 アジア太平洋戦始まる
1942 (s17)	第十一次集団移民	第五次青少年義勇軍 第二次義勇隊開拓団	第二期5ヶ年計画第1年 10.1 関東軍、総軍に昇格、対ソ戦に備え軍備ピークに	
1943 (s18)	第十二次集団移民	第六次青少年義勇軍 第三次義勇隊開拓団	年度初期の大本営方針:対ソ戦絶対静謐保持も万一開戦なら徹底した短期決戦、後半~:関東軍部隊の南方抽出本格化 6.4「食糧増産応急対策要綱」閣議決定、8.17「第二次食糧増産対策要綱」閣議決定、8.25農林省、地方長官に「食糧増産応急対策二伴フ満蒙開拓青少年義勇軍派遣二関スル件」	9.「絶対国防圏」策定
1944 (s19)	第十三次集団移民	第七次青少年義勇軍 第四次義勇隊開拓団	6.徴兵適齢の1年引き下げにともない義勇軍応募上限を19歳から18歳に変更 8.16 閣議決定の国民動員計画により「農業からの供出」は義勇軍以外最少限度とする 9.18 対ソ戦は持久戦に転換	7.東條内閣総辞職 11.24 マリアナ発B29の本土初空襲
1945 (s20)	第十四次集団移民	第八次青少年義勇軍 第五次義勇隊開拓団	5.1 内原訓練所最後の渡満壮行式 5.12 関東軍総司令部改編(2108名→510名) 6.4~ 防衛ラインを段階的に大連-新京-図們まで南下 7.根こそぎ動員(在満適齢男性40万人中25万人召集) 7.2 開拓団、義勇軍の渡満禁止 8.8 日ソ開戦	4.1 本土決戦に備えた統帥組織に改編 8.14 ポツダム宣言受諾